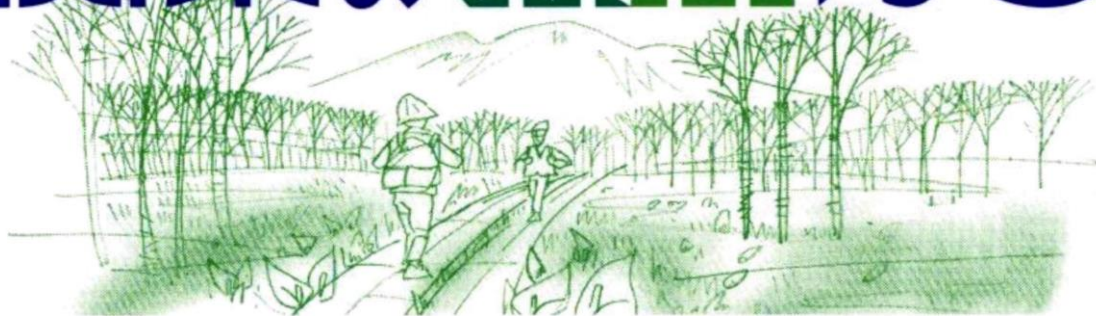


令和6年4月1日

第238号

関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25
TEL.027-210-1158
<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>



令和5年度治山・林道工事コンクール林野庁長官賞受賞工事

工事名：大井川地区（東沢）直轄治山工事（静岡県川根本町）

大井川治山センター

令和5年度治山・林道コンクール表彰式	治山課・森林整備課	・ ・ 2
第27回森林（もり）は友達作文コンクール	東京事務所	・ ・ 7
硫黄島の国有林	小笠原総合事務所国有林課	・ ・ 9
森林管理署等から	・ ・ ・ ・ ・	10
森づくり最前線	埼玉森林管理事務所 大滝森林事務所 主事 田原幹丈	・ 12

令和5年度 治山・林道コンクール 表彰式

治山課、森林整備課

令和6年2月28日、関東森林管理局にて令和5年度治山・林道工事コンクールにおける優秀な工事を施工した者に対する表彰を行いました。

治山・林道工事コンクールとは、国有林野の公益的機能を十分に発揮させ、林業・木材産業の成長産業化の推進などの効果を発現させることに貢献した治山・林道工事であって、民有林の模範としてふさわしいものを表彰するものです。治山・林道工事における計画・設計・施工の適正化、設計・施工技術の向上、関係者の意欲高揚に資することを目的としています。

関東森林管理局管内では、令和4年度に完成した治山工事108件と林道工事62件のうち、森林管理署等から推薦のあったものについて、外部有識者を含む選考委員会が「コスト縮減」「技術提案」「環境配慮」「施工管理」のテーマ別に施工状況・出来ばえ等を総合的に審査しています。

特に優秀な工事を林野庁へ推薦したところ、次の5件が林野庁長官賞を受賞しました。これらの工事は、2月15日に開催された林野庁の表彰式で表彰状が授与されています。

今回の関東森林管理局の表彰式では、林野庁長官賞を受賞した工事の施工担当技術者と監督職員、優良とされた10件の工事の施工会社に対して、関東森林管理局長賞を授与しました。



表彰式



局長賞の授賞者（治山工事部門）



局長賞の授与者（林道工事部門）

【林野庁長官賞受賞工事】

1. テーマ：施工管理

工事名：吾妻地区（大名沢）流木防止総合対策工事（R3補正）

受注者：株式会社武藤組

発注者：吾妻森林管理署

本工事は、既設谷止工への増厚・かさ上とあわせて流木対策施設の追加による機能強化を実施したものです。豪雪地帯の短い工期の中、準備工や支障木伐採、既設えん堤の取壊しなどの施工管理を効率的に実施し、工期が11月末のところ、10月中に工事を完成させた点が高く評価されました。

また、出来高の数量管理において会社独自の3D図面等を活用し、受発注者間の情報共有をスムーズに行った点も評価されました。



2. テーマ：施工管理

工事名：小山地区（奥の沢川10）直轄治山工事（R3補正）

受注者：小野建設株式会社

発注者：静岡森林管理署

本工事は、山腹基礎工、緑化工、植栽工等の山腹工を実施したものです。ICT技術等を積極的に取り入れ、UAV測量から3Dモデル化した資料を三者会議等で活用したほか、遠隔臨場や情報共有システムなど事業の効率化に取り組んだ点が高く評価されました。

また、着工前に3Dモデル化した完成予想図を作成し、工種配置等の見直しや施工イメージを発注者と共有しながら施工した点も評価されました。



3. テーマ：施工管理

工事名：大井川地区（東沢）直轄治山工事（R3補正）

受注者：河津建設株式会社

発注者：大井川治山センター

本工事は、平成23年の豪雨により崩壊が拡大した山腹崩壊地の復旧工事であり、平成24年度から継続して実施しているものです。

施工地は、斜面勾配が30～40°の急峻な地形で、近隣の林道から距離があり、作業員の通勤や資材運搬のために延長300m以上のモノレールやケーブルクレーンの仮設が必要となりました。また、破損した法枠工の取り壊しと再設置の作業もあり、取り壊した法枠資材を約70km離れた処分場へ運搬する必要がありました。

これらの悪条件にも関わらず、優れた工程管理により迅速に工事を完成させたことが高く評価されました。



4. テーマ：環境配慮

工事名：影沼作業道新設工事（R3補正）

受注者：有限会社大座畑建設

発注者：茨城森林管理署

本工事は、作業道（林業専用道）の新設において、法面保護の丸太伏工、丸太を用いた補強土壁工など多くの木材を使用し、かつ現場環境に配慮した点が高く評価されました。

また、施工性や工期短縮の観点から、鋼製ふとんかご工を繊維製かごマットへ変更するとともに、アスファルト舗装の施工時に土砂の混入を防ぐ防護板を設置するなど、工期短縮や施工性を考えながら工事を実施したことも評価されました。



5. テーマ：施工管理

工事名：天目山（天目山）林道（川俣橋）改良工事（R3 補正）

受注者：株式会社山崎工務店

発注者：埼玉森林管理事務所

本工事は、昭和31年架設の老朽化した橋の架け替え工事です。

施工機械の搬入路が狭く、橋台が特殊な形状のため、難易度が高い工事でしたが、コンパクトな機械を使用して橋桁を架けるなど工夫しました。

また、工事施工のための道路の通行止め措置、既設橋に設置されている水道管の移設など様々な課題について、地元との関係を良好に保ち、丁寧に施工した点が高く評価されました。



受賞された皆様にお祝い申し上げますとともに、発注者側として、今後も本コンクールの趣旨に則り、コスト縮減、新技術の提案、環境への配慮等、創意工夫を積極的に行い、よりよい工事の施工となるよう努めてまいります。また、山地災害等の発生時には森林土木に期待される役割を鑑み、速やかな復旧とその後の対策を進めてまいります。

林野庁長官賞

事業別	テーマ	実行署名	工事名	施工者
治山	施工管理	吾妻森林管理署	あがつまちく だいまようさわ りゅうぼうほうしそごうたいさくこうじ 吾妻地区(大名沢) 流木防止総合対策工事(R3補正)	おとうぐみ (株) 武藤組
治山	施工管理	静岡森林管理署	おやま ちく おく さわがわ ちよつかつちさんこうじ 小山地区(奥の沢川10) 直轄治山工事(R3補正)	おの けんせつ 小野建設(株)
治山	施工管理	大井川治山センター	おおいがわちく ひがしさわ ちよつかつちさんこうじ 大井川地区(東沢) 直轄治山工事(R3補正)	かわづ けんせつ 河津建設(株)
林道	環境配慮	茨城森林管理署	かげぬまさぎやうどうしんせつこうじ 影沼作業道新設工事(R3補正)	おおざはたけんせつ (有) 大座畑建設
林道	施工管理	埼玉森林管理事務所	てんもくさん てんもくさん りんどう かわたまほし かいりようこうじ 天目山(天目山) 林道(川俣橋) 改良工事(R3補正)	やまさぎやうむてん (株) 山崎工務店

関東森林管理局長賞

事業別	テーマ	実行署名	工事名	会社名等
治山	技術提案	大井川治山センター	おおいがわちく なぎ ちよつかつちさんこうじ 大井川地区(ホーキ薙) 直轄治山工事(R3ゼロ国)	かわづ けんせつ 河津建設(株)
治山	技術提案	千葉森林管理事務所	こみなと ちく おおもりやつよぼう ちさんこうじ 小湊地区大森谷予防治山工事	なす けんせつ 那須建設(株)
治山	技術提案	伊豆森林管理署	なめさわちく ふつきゆうちさんこうじ 滑沢地区復旧治山工事(R3ゼロ国)	おの けんせつ 小野建設(株)
治山	施工管理	群馬森林管理署	くまくらちく ふつきゆうちさんこうじ 熊倉地区復旧治山工事(R3補正)	いわい どけん 岩井土建(株)
治山	施工管理	利根沼田森林管理署	にしの さわちく ふつきゆうちさんこうじ 西ノ沢地区復旧治山工事(R3補正)	ぬまたどけん 沼田土建(株)
治山	施工管理	下越森林管理署	ながはしがわちく ふつきゆうちさんこうじ 長走川地区復旧治山工事(R3補正)	ともやまぐみ (株) 巴山組
治山	施工管理	山梨森林管理事務所	のろがわちく さわ ちよつかつちさんこうじ 野呂川地区(ゴウロ沢) 直轄治山工事	あまのこうぎやう 天野工業(株)
治山	施工管理	静岡森林管理署	だいにちざわちく だいにこうく ふつきゆうちさんこうじ 大日沢地区(第二工区) 復旧治山工事(R3ゼロ国)	きむらぐみ (株) 木村組
治山	施工管理	大井川治山センター	おおいがわちく ひがしごうち ちよつかつちさんこうじ 大井川地区(東河内) 直轄治山工事(R3ゼロ国)	ながしまけんせつ (株) ヤマエイ長島建設
林道	施工管理	東京神奈川森林管理署	ほうぎやうさわりんぎやうせんようどうしんせつこうじ 法行沢林業専用道新設工事	かわづ けんせつ 河津建設(株)

第27回森林（もり）は友達！作文コンクール

東京事務所

「森林（もり）は友達！作文コンクール」は、茨城県と埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県に所在する森林管理署、森林管理事務所、高尾森林ふれあい推進センター等による森林教室、林業体験等に参加した小学4～6年生を対象に行っています。

体験を通じて感じたこと、思ったこと、学んだことを作文にし、森林・林業への理解や関心を高めることが目的です。

一般社団法人東京林業土木協会が主催し、関東森林管理局東京事務所は協賛しており、今年で27回目を迎え、総参加者数が3万3千人を超えました。今回は23団体と1,459人が参加しました。

一次審査と二次審査を通過し、最終審査の対象となった35作品の中から、令和6年1月の審査委員会において最優秀賞ほか入賞作品24点が決定されました。

最優秀賞（林野庁長官賞）は、西東京市立向台小学校5年の佐藤和（さとういずみ）さんが受賞しました。「木と私、「対等」という事」と題し、森林は人の手が無ければよい環境が保たれないと思っていたが、森林教室に参加して、自分たちの暮らしが逆に森林や木に支えられていたと知り、自分と木は「対等」な関係だと感じた、と書いています。

このほか、木を切るのは悪いことだと思っていたけど、木は持続可能で適切に切って使うことが大事と学んだという作文、高尾山だけでイギリス全土に生息生育する動植物と同じ数があることに驚いたという作文など、力作揃いでした。



森林管理署等で行われた森林教室



審査委員会



林野庁長官賞を受賞する佐藤さん



参加賞の木製温度計

令和6年2月29日、東京事務所で表彰式を4年ぶりに開催しました。

小林審査員長から「今年もどの作品も素晴らしいものばかりで審査には頭を悩ませた」との挨拶があり、最優秀賞の佐藤さんが自らの作文を堂々と朗読しました。江坂東京事務所長は「森林教室などで学んだ皆さんは森のサポーターです。未来を担う皆さんの活躍を期待しています」とお祝いを述べました。受賞された皆さまの誇らしげな顔が印象的でした。

令和6年度も、この「森林は友達！作文コンクール」を実施する予定です。森林教室や林業体験などに参加し、多くの児童に作文を書いていただきたいと考えています。

なお、東京事務所のホームページに受賞者一覧と最優秀賞の作文を掲載していますので、ぜひご覧ください。



受賞者とその保護者



←関東森林管理局東京事務所のホームページ

<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/tokyo/index.html>

硫黄島の国有林野

小笠原総合事務所国有林課

太平洋戦争の激戦地として有名な硫黄島は、島の面積の30%（約1千ha）ほどが国有林野となっています。森林施業は行っていませんが、硫黄島の国有林野の半分近くは自衛隊の基地施設等に利用されています。また、島内施設の修繕に利用するための土石を販売しています。

硫黄島の開拓は1889年からはじまり、硫黄の採掘、サトウキビや綿花の栽培といった産業が行われ、コカ、デリスの栽培や本土に輸出する野菜の栽培にも力を入れていました。戦中には、軍属として残された島民以外は本土へ強制疎開されました。戦後は米国の統治を経て、1968年に日本へ返還されたものの、それ以降は自衛隊員や基地の維持・修繕を担う工事関係者以外は立ち入りが制限されています。

小笠原総合事務所国有林課では、国有林野の貸付・使用状況や土石の販売箇所を確認するため、数年に1度、硫黄島を訪ねています。本土の自衛隊基地から輸送機に乗り込み、片道2時間弱で硫黄島に到着します。活火山の火山島であるため、ところどころに噴気があり、温泉地にいるような臭いが立ち込めています。戦前・戦中に掘られた地下壕がいたるところにあり、地熱が高い場所にある壕の内部はサウナのように暑く（60～70℃）、この中で人が活動していたとは信じられないほどです。島内には太平洋戦争時の遺構や兵器の残骸が残り、硫黄島の戦いで亡くなった兵士を慰霊する碑が多く設置されています。

硫黄島は、開拓が始まってからの人為かく乱に加え、外来種の駆除が実施されなかったため、小笠原諸島の他の島と比べると特に異質な環境です。ギンネムやシマグワといった外来樹木の林が広がり、島中にノネコが生息しています。硫黄島にも小笠原諸島の固有種であるオガサワラオコウモリが生息しており、アカガシラカラスバトの飛来が確認されています。これらの固有種が、ノネコに捕食されるおそれがあります。

また、最後の秘境と呼ばれる南硫黄島は、硫黄島から望める距離にあります。南硫黄島への人の立ち入りは原生的な自然環境を保全するため制限されていますが、鳥類の移動に伴って硫黄島から外来種が拡散することが懸念されています。

渡航することが難しい硫黄島ではありますが、少ない機会を有効に使って島の状況を把握し、関係機関と協力して国有林野の適正利用と管理に努めます。



硫黄島の位置



米軍シャーマン戦車



折鉢山と千鳥ヶ浜



硫黄島のノネコ



硫黄島から望む南硫黄島

森林管理署等から

令和5年度における森林管理署等の取組を紹介します。

～伊豆森林管理署～

職場体験の受入

令和6年2月26日から28日までの3日間、上智大学の学生を職場体験プログラムとして受け入れました。

学生は、いわゆる文系女子大生でドイツに1年間語学留学を行っている際に、ドイツ文学に多く出てくる森林に興味を抱いていたそうです。また実家のある千葉県では外来種のキョンが大繁殖し、生息域を拡大させていることを危惧しているとのことでした。

このようなことから、シカの有害捕獲事業を行っている当署の職場体験プログラムを希望したとのことでした。

1日目は、地すべり防止工事現場の見学、UAVの操縦体験、高性能林業機械による伐採作業を見学し、初めて見た木が伐り倒される様子に驚いたようです。

2日目は、捕殺されるシカを見学し葛藤を覚えた様子ですが、有害生物の捕獲の必要性について理解したようです。造林事業地では、シカによる林業被害や防護柵の有効性の説明を受けました。



地すべり防止工事（集水井）の見学



コンパス測量実習



造林事業地の見学

3日目は、収穫予定箇所の現地調査、調査成果の集計、図面作成、報告書の作成という一連の森林官業務を体験しました。最後に、3日間の体験をスライドにまとめ、職員の前で感想などを発表しました。学生は、当初は緊張していたが、職員のフレンドリーさにリラックスして打ち解けることができたことと感想を述べ、職員からは、ぜひ林野庁への就職を志望してくださいとエールを送りました。

～埼玉森林管理事務所～

ニホンジカ被害防止対策の取組

植栽木をシカの食害から守るため、これまでも防護柵や単木保護資材などの対策を実施してきました。しかしながら、防護柵の下からの潜り込みや防護柵の飛び越え等によりシカが侵入し、植栽木の食害や金網等の損傷が数多く確認されています。そのため、今年度の新植個所においては、防護柵を全面積ではなく、区域内の作業道沿いに分割して設置し、シカの通り道を確保するという「パッチディフェンス」を採用しました。このことにより、シカのストレスを軽減させ植栽木だけでなく防護柵の被害を軽減する効果が期待できると考えました。

秩父地域の森林においては、シカによる食害が甚大であることから、今回のパッチディフェンスの設置方法を地域の森林・林業関係者へ紹介し、意見交換を実施しました。この際に出された意見などを踏まえ、パッチディフェンスの効果検証を行い、シカ被害防止対策の向上に努めていきます。



単木保護ネットの状況説明



パッチディフェンスの設置状況

～赤谷森林ふれあい推進センター～

お知らせ

関東の森林から3月号で紹介した「赤谷プロジェクト20周年記念報告会」の動画について、次のウェブサイトに掲載しております。ぜひご覧ください。

http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya_fc/news/240127_11.html



今月の表紙

令和5年度治山・林道工事コンクール林野庁長官賞受賞工事
工事名：大井川地区（東沢）直轄治山工事（静岡県川根本町）

静岡県を流れる大井川上流において、平成23年の豪雨により崩壊地が拡大しました。

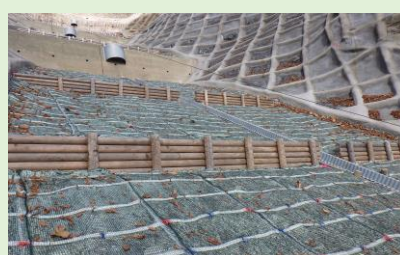
平成24年度から簡易法枠工や丸太柵工など森林に復旧するための治山工事を施工し、令和4年度に完成しました。

この現場は急峻で林道から施工地までの距離が遠いことから、作業員の通勤や資材運搬のためにモノレールやケーブルクレーンを設置しました。

工事にあたっては、現場事務所の建物や工事看板、工事資材に静岡県産の木材を積極的に活用しました。



近景



丸太柵工



資器材を運搬するケーブルクレーン

森づくり最前線

埼玉森林管理事務所 大滝森林事務所 主事 田原 幹丈

大滝森林事務所は、埼玉県秩父市の西側を管轄し、東京都、山梨県、群馬県、長野県の都県境に隣接した約9千haの国有林を管理しています。

管内の国有林は、全域が秩父多摩甲斐国立公園や県立自然公園に指定されています。日本百名山として挙げられている甲武信ヶ岳、雲取山等2千メートル級の山々が連なる秩父山地の東側にあり、コメツガやシラビソ等からなる常緑針葉樹林が広がっています。また、保護林や緑の回廊が設定されていることから、自然環境の維持や生物多様性の保全を重視した管理経営を行っています。

そのため、当森林事務所の業務は、境界巡視や貸付地の確認などの管理的用務が主体となっています。特に、境界巡視については、境界標が都県境に設置されていることから、境界標までのアクセスが非常に悪く、徒歩で片道2時間以上もかかります。移動時間を考慮すると作業できる時間が限られ、体力を消耗します。ドローンを使用した境界の巡視も行っていますが、稜線や沢等は撮影できないため、徒歩での巡視が多く苦慮しております。登山者が宿泊する山小屋や避難小屋が多数あり、それら貸付地の現況確認は年間計画を立て森林管理事務所内の職員の協力を得て実施しています。今年度は、十文字山にある山小屋等の現状確認を1泊2日で実施しました。この他、新植やシカ柵設置の請負作業の監督職員補助とシカ柵の点検、シカの捕獲にも取り組みました。

私は、当森林事務所に新規採用で配属されて3年目になりますが、森林事務所の現場業務は4月から初めてです。先輩方や非常勤職員に現場を案内していただきながら、仕事を進めています。今後も山岳や渓谷の景観を楽しみつつ、国有林の管理を行っていきたいと思います。



ドローンによる境界巡視



貸付地（四里観音避難小屋）の現状確認



シカわな設置中の筆者